

[パネル討論]

計算機アーキテクチャのトップカンファレンスを攻略しよう！

モデレータ：吉瀬謙二（東京工業大学）  
司会：井上弘士（九州大学）

パネリスト：安藤秀樹（名古屋大学）  
京昭倫（日本電気（株））  
五島正裕（東京大学）  
坂本真理子（富士通（株））  
佐藤寿倫（福岡大学）

概要

計算機アーキテクチャ分野におけるトップカンファレンスは高いレベルにある。例えば、2008年のISCA（International Symposium on Computer Architecture）の論文採択率は14%と極めて低い。このような状況の中、トップカンファレンスにおける日本からの発表件数はごくわずかであり、世界のアーキテクチャ分野に対する十分な貢献ができていたとは言い難い。そこで本パネルでは、このような状況を打開すべく、トップカンファレンス発表経験者ならびにプログラム編集委員経験者をお招きしトップカンファレンス攻略に関して議論する。パネリストの個々の事例や採録のためのノウハウを紹介していただき、それらを踏まえてトップカンファレンスで発表することの意義や攻略法などを検討する。そして、トップカンファレンスにおける日本アーキテクチャ界からの発表件数増加を目指す。